

2D ワイヤレス

ロングレンジバーコードスキャナ MS852B_LR

クイックリファレンスガイド

1. 対象機器

本書は、以下の機器を対象としています。

- MS852-OUBB0C-SG

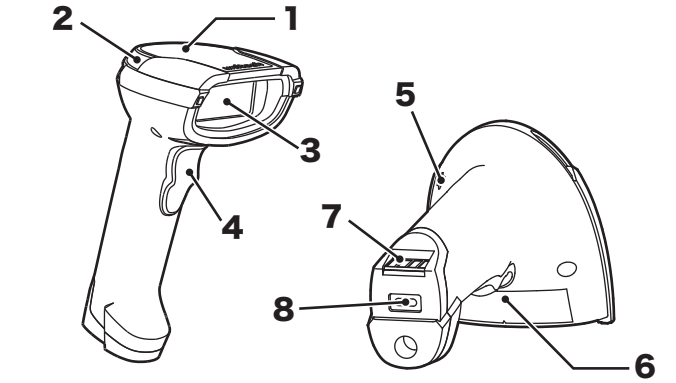
2. パッケージ

各機器のパッケージ内容については次の表をご確認ください。

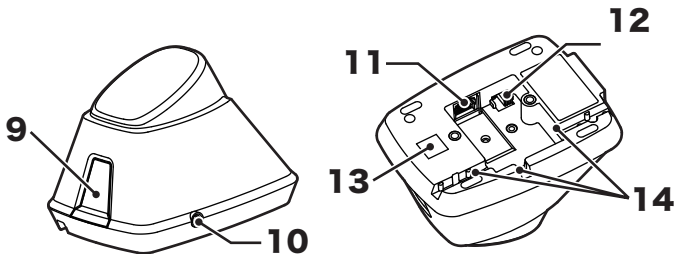
	OUBB0C
スキャナ本体（バッテリーパック内蔵）	✓
クレードル本体	✓
USB インターフェースケーブル	✓
RS232 インターフェースケーブル	
RS232 用 AC アダプタ	
USB-C 充電ケーブル	
クイックリファレンスガイド（本書）	✓
バッテリー交換ガイド	✓
保証書	✓
ユーザー登録カード	✓
無償延長保証について	✓

3. 各部情報

スキャナおよびクレードルの各部情報は次の図表をご確認ください。



- (1) 充電状態 LED
- (2) LED インジケータ
- (3) ウィンドウ
- (4) トリガーボタン
- (5) ブザースピーカー
- (6) リセットホール
- (7) 充電端子（クレードル）
- (8) 充電端子（USB-C）



- (9) LED インジケータ
- (10) クレードルボタン
- (11) インターフェースポート
- (12) インターフェーススイッチ
- (13) ペアリングバーコード
- (14) ケーブルガイド

4. 仕様（抜粋）

光学仕様

受光素子	CMOS センサ、1280 X 800 ピクセル
光源	660nm ハイパーレッド LED（照明）、655nm 赤色レーザー（照準）
最小分解能	0.0762mm（1 次元）、0.254mm（2 次元）

無線仕様

通信規格	Bluetooth® LE V4.2 および BluetoothR V2.1+EDR デュアルモード
通信距離 *1	Class 1（見通し最大 100 メートル）
プロファイル	HID および SPP

*1 通信距離はホスト側の Bluetooth® の仕様によります。

電源仕様

タイプ	交換可能な充電式リチウムイオン電池
容量	2,850 mAh
充電時間	最大 6.5 時間
動作時間	30 時間以上（新品バッテリー）

5. 技術基準適合証明番号

スキャナ	クレードル
 R 201-200028	 R 201-200026

6. 電源オン・オフ

スキャナの電源をオンまたはオフするには次の操作を行います。

電源オン：電源オンのブザーが鳴るまで 2 秒以上トリガーボタンを引き続けます。

電源オフ：電源オフのブザーが鳴るまで 7 秒以上トリガーボタンを引き続けます。

7. インジケータ

充電状態 LED

状態	LED ランプ
バッテリー充電中	赤ランプ点灯
バッテリー充電完了	消灯

LED インジケータ（スキャナ）

状態	LED ランプ
バッテリー残量 10% 以下	2 秒間隔で赤ランプが点滅
バッテリー残量 5% 以下	他の LED をすべて停止して赤ランプが高速点滅
システム警告 / エラー	5 秒間隔で赤ランプが点滅
読み取り成功	緑ランプが 1 回点滅
自動プレゼンテーション	2 秒間隔で緑ランプが点滅
システムビジー / スキャンング無効	1 秒間隔で緑ランプが点滅
Bluetooth ペアリングモード	1 秒間隔で青ランプが点滅
Bluetooth 接続中	青ランプ点灯
Bluetooth 切断中（圏外等）	緑ランプ点灯
Bluetooth 電波微弱、送信不安定	青ランプが高速点滅
ファームウェア更新モード	白ランプ点灯

LED インジケータ（クレードル）

状態	LED ランプ
ホストとの通信不可	赤ランプ点灯
Bluetooth ペアリングモード	1 秒間隔で青ランプが点滅
Bluetooth 接続中	青ランプ点灯
Bluetooth 切断中（圏外等）	緑ランプ点灯
システムビジー / データ送受信無効	1 秒間隔で緑ランプが点滅
クレードルファームウェア更新モード	白ランプ点灯
スキャナファームウェア更新モード	1 秒間隔で白ランプが点滅

ブザーインジケータ

状態	ブザー
電源オン（自動モード）	1 回鳴動
電源オン（ウェッジモード）	2 回鳴動
電源オン（パッチモード）	3 回鳴動
自動電源オフ警告	自動電源オフが実行される 15 秒前に短く 2 回鳴動
電源オフ	短く 鳴動
読み取り成功（Bluetooth 接続中）	1 回鳴動
読み取り成功（Bluetooth 切断中）	2 回鳴動（中音→高音）
Bluetooth 接続完了	3 回鳴動（低音→中音→高音）
Bluetooth 切断完了	3 回鳴動（高音→中音→低音）

8. 保証期間について

標準保証期間内の修理は、原則センドバックによる無償修理対応となります。初期不良対応期間内の修理は、原則センドバックによる製品交換対応となります。

標準保証期間

スキャナ本体	1 年間 *2
クレードル本体	1 年間 *2
バッテリーパック	3 ヶ月間 *2
その他のアクセサリ類	3 ヶ月間 *2

初期不良対応期間

すべて	ご購入後 2 週間以内 *2
-----	----------------

*2 使用せずに保管されていた期間も含みます。

9. 日本語ユーザーマニュアル

すべての仕様や設定、接続方法、Q&A、修理依頼方法などは、日本語ユーザーマニュアルに掲載されています。日本語ユーザーマニュアルは、次の場所からダウンロードすることができます。

<https://www.ute.com/jp/products/detail/1063>

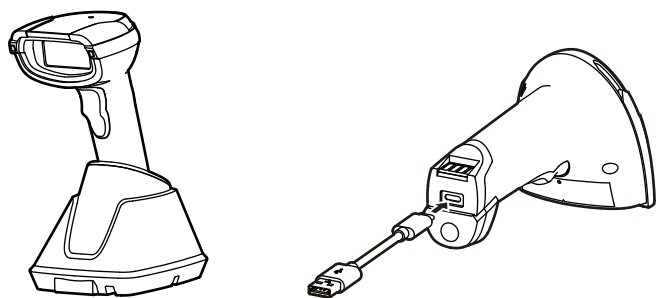


10. 日本語入り QR コードへの対応

本書に掲載されている接続方法や設定では、日本語（かな、カナ、半角カナ、漢字、その他の全角文字）を含む QR コードを正しく出力することはできません。日本語を正しく出力するには USB 仮想 COM エミュレーションや BT SPP による接続とソフトウェアのセットアップが必要です。これらの詳細は、日本語ユーザーマニュアルに掲載されています。

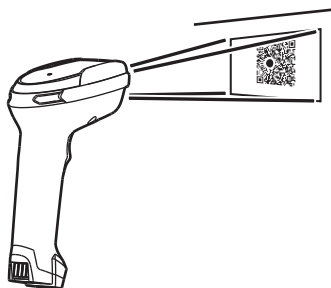
11. バッテリーパックの充電

スキャナを付属のクレードルに挿入するか、USB-C ケーブルを直接接続して充電を行います。充電中はホスト PC の USB ポート、または USB ポート付きの AC アダプタにケーブルを接続します。ホスト PC がシャットダウンされていると充電されない場合がありますのでご注意ください。



12. スキャン方法

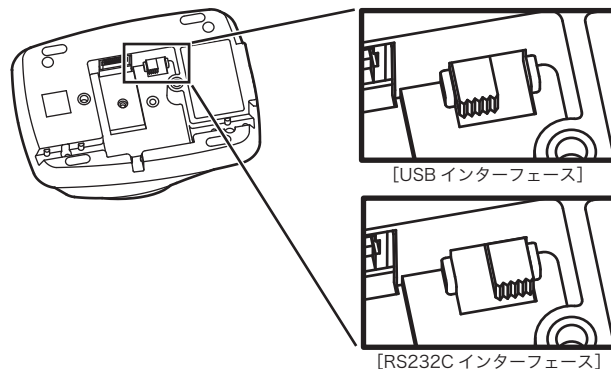
スキャナを対象のバーコード、QR コードへ向け、トリガーを引いてください。引き続けている間は読み取りを行います。照準が対象の中央付近になるように合わせてください。



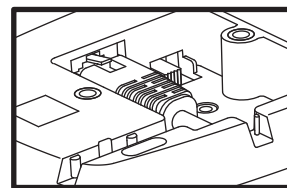
13. 設置例（クレードル）

その他の接続方法や、Bluetooth® によるホストとの直接接続の方法などは日本語ユーザーマニュアルを参照してください。

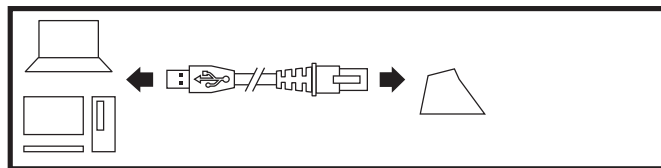
1. クレードルからケーブルをすべて取り外し、インターフェースス イッチを USB の場合は左側に、RS232 の場合は右側に移動させます。



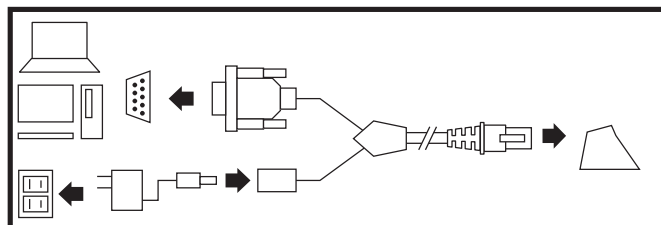
2. インターフェースケーブルをインターフェースポートに接続します。



3. USB の場合は、USB コネクタをホスト PC の USB ポートへ接続し、RS232 の場合は D-SUB 9 コネクタをホスト PC の COM ポートへ接続します。RS232 の場合は、続いて AC アダプタを電源ポートとコンセントへ接続します。



[USB インターフェース]



[RS232C インターフェース]

4. クレードルボタンを 2、3 秒間押してから放します。
5. クレードルの LED インジケータが青色に点滅している事を確認します。
6. スキャナのトリガーボタンを 2 秒以上引いて電源をオンにします。
7. スキャナで次の QR コードを読み取ります。



工場出荷デフォルト

8. スキャナをクレードルに挿入し設置します。自動的にスキャナとクレードルのペアリングと接続が開始されます。
9. しばらくするとペアリングと接続が完了し、スキャナおよびクレードル双方の LED インジケータが青色に点灯します。
10. ホスト PC でメモ帳を実行し、カーソルを合わせてから、スキャナで希望のバーコードまたは QR コードを読み取ります。（読み取りテスト）